

# 兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 20号)

2023年 3月28日発行  
 兵庫のみ研究所

3月21日から26日にかけての断続的な降雨(地点:明石,合計41.0mm)後の調査でした。海域東部では、栄養塩を消費する珪藻類はほぼ確認されませんでした。海域西部では、小型珪藻のスケルトネマ、ユーカンピアが確認されますが、発生量は少ない状況です。窒素は、鋼管漁場で5~7  $\mu\text{g-at/L}$ 台、明石海峡部~新漁場で2~3  $\mu\text{g-at/L}$ 台、二見漁場以西では陸水等の影響により特異的に高い地点を除き、概ね2  $\mu\text{g-at/L}$ 台に上昇していました。

(水温) 漁場内平均11.5℃。昨年比1.7℃、平年比1.0℃ともに高い。(塩分) 平均32.35psu。前回(32.56)より約0.2psu低い。  
 (栄養塩、珪藻) 海域東部では、珪藻類はほぼ確認されない。海域西部では、スケルトネマ、ユーカンピアは確認されるが、前回(3/20)調査と比較して、発生量は大きく減少していた。各海域のユーカンピア発生量(海水1mlあたり)は、林崎~別府漁場で0細胞(前回値:0~2細胞)、高砂漁場で20~50細胞(前回値:20~200細胞)であった。  
 3月21~26日の降雨により、海域全般に栄養塩は増加しており、加古川河口・別府漁場沖では、陸水の影響により窒素の値が高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	11.1	11.5	10.5	9.8
窒素	2.1	3.6	3.0	3.8
リン	0.30	0.34	0.27	0.29

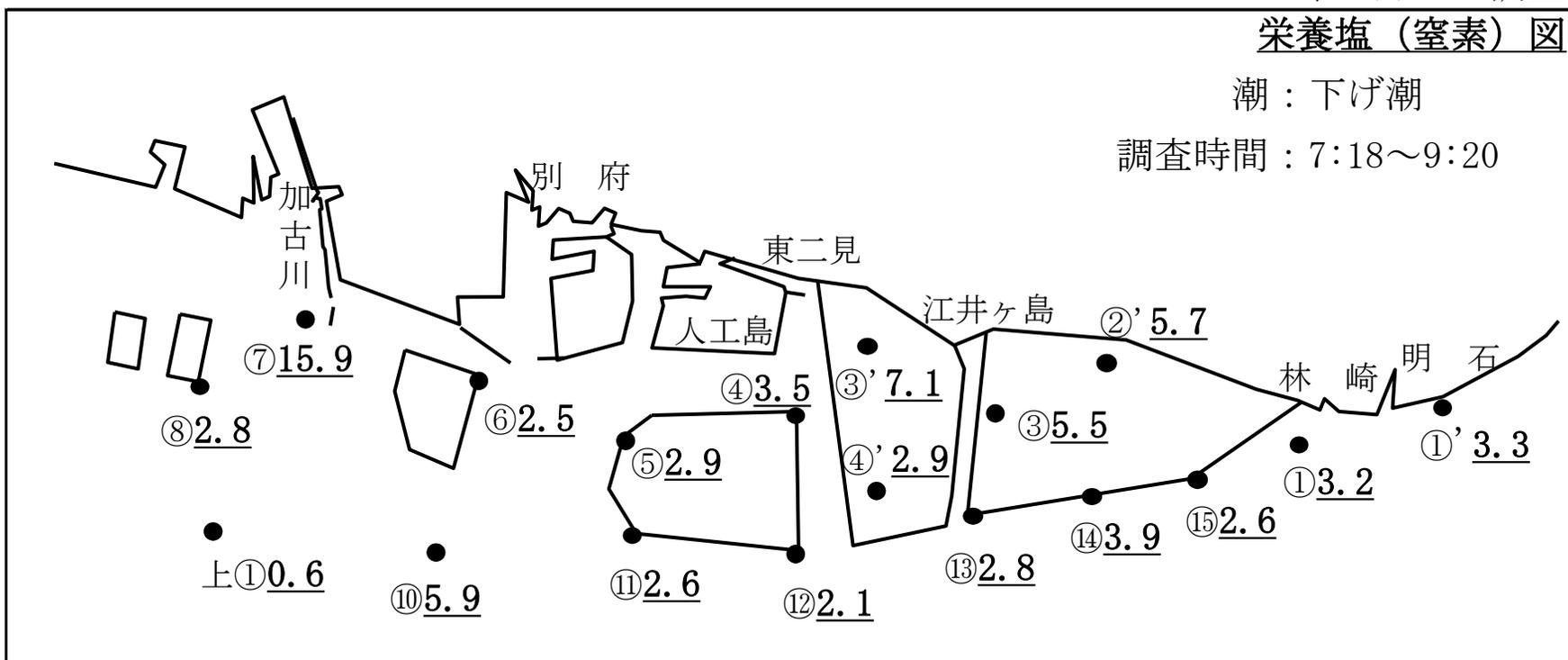
(3/20) (3/24)

2023年 3月28日調査

## 栄養塩(窒素) 図

潮: 下げ潮

調査時間: 7:18~9:20



## 水温図

